

## 北海道医療計画[中間見直し]骨子（案）

中間見直しに係る道の基本的な考え方（抜粋）

計画策定後の「5 疾病・5 事業及び在宅医療」における取組状況等を踏まえ、次の事項について、見直しを進める。

- ・国が改正した指針等を踏まえた数値目標及び記載事項の見直し
- ・在宅医療の需要の再推計

医療計画の構成	見直しのポイント（作成指針の主な変更箇所）
<b>第 1 章</b> 基本的な考え方 第 1 節 計画の趣旨 第 2 節 計画の位置づけ及び性格 第 3 節 計画の期間 第 4 節 計画の圏域 第 5 節 基準病床数等 <b>第 2 章</b> 地域の現状 第 1 節 地勢と交通 第 2 節 人口の推移 第 3 節 住民の健康状況 第 4 節 患者の受療動向等 第 5 節 医療提供施設の状況 第 6 節 医療従事者の年次推移	（中間見直しの対象外）
<b>第 3 章</b> 5 疾病・5 事業及び在宅医療のそれぞれに係る医療連携体制の構築 第 1 節 趣旨等	（中間見直しの対象外）
第 2 節 がんの医療提供体制	○ がんの医療体制の現状を把握するに当たり、「小児がん拠点病院・小児がん連携拠点病院の連携状況」と「がんゲノム医療中核拠点病院等とがん診療を行う病院との連携状況」も参考として、記載を見直し。
第 3 節 脳卒中の医療連携体制	○ 令和 2 年度策定予定の国の「循環器対策等推進計画」の状況を踏まえ、記載を見直し。
第 4 節 心筋梗塞等の心血管疾患の医療連携体制	
第 5 節 糖尿病の医療連携体制	○ 糖尿病の医療体制の現状を把握するに当たり、新たに追加された指標も参考として、記載を見直し。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「糖尿病患者の新規下肢切断術の件数」</li> <li>・「1 型糖尿病に対する専門的治療を行う医療機関数」</li> </ul>

医療計画の構成	見直しのポイント（作成指針の主な変更箇所）
第6節 精神疾患の医療連携体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現計画策定以降に整備された方針、計画を踏まえ、記載を見直し。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年6月「認知症施策推進大綱」</li> <li>・令和2年3月「北海道ギャンブル等依存症対策推進計画」</li> </ul> </li> <li>○ 精神疾患の医療体制の現状を把握するに当たり、新たに追加、変更された指標や地域精神保健医療福祉資源分析データベース（ReMHRAD）も参考として、記載を見直し。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各精神疾患領域の拠点医療機関数の追加 等</li> </ul> </li> </ul>
第7節 救急医療体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 救急医療体制の現状を把握するに当たり、新たに追加された指標も参考として、記載を見直し。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・転院搬送の受入件数</li> <li>・転院搬送の実施件数 等</li> </ul> </li> <li>○ 救命救急センターに求められる事項として、「災害時に備え、災害拠点病院と同様に自家発電機、受水槽の保有が望ましい」とされたことを踏まえた記載の見直し。</li> </ul>
第8節 災害医療体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 災害医療体制の現状を把握するに当たり、新たに追加された指標も参考として、記載を見直し。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・都道府県による災害医療教育の実施回数</li> <li>・災害医療コーディネーターと災害時小児周産期リエゾンの任命者数 等</li> </ul> </li> </ul>
第9節 へき地医療体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ へき地医療拠点病院について、巡回診療、医師派遣、代診医派遣（主要3事業）に遠隔医療を加えた4事業（必須事業）のいずれの実施もない場合は、現状を確認する。</li> <li>○ へき地医療体制の現状を把握するに当たり、新たに追加された指標も参考として、記載を見直すとともに、「必須事業の実施回数が年間1回以上の医療機関の割合を100%にする」ことを数値目標にすることが望ましいとされたことを踏まえた記載の見直し。</li> </ul>

医療計画の構成	見直しのポイント（作成指針の主な変更箇所）
第10節 周産期医療体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「妊産婦に対する保健・医療体制の在り方に関する検討」において、「産婦人科と産婦人科以外の診療科との連携や診療の質の向上に取り組んでいく必要がある」とされたことを踏まえた記載の見直し。</li> <li>○ 「災害時を見据えて、地域周産期母子医療センター及び総合周産期母子医療センターは業務継続計画（BCP）の策定や自家発電機等を保有すること。また受水槽の設置が望ましい。」とされたことを踏まえた記載の見直し。</li> </ul>
第11節 小児医療体制（小児救急医療を含む）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 災害時に小児・周産期医療に係る保健医療活動の総合調整を適切かつ円滑に行えるよう、都道府県災害医療コーディネーターをサポートする、災害時小児周産期リエゾンを任命し、平時からの訓練等を行うこと」とされたことを踏まえた記載の見直し。</li> <li>○ #8000事業等の電話相談事業について、応答率等を把握し、適切な回線数の確保等について検討を行う。</li> </ul>
第12節 在宅医療の提供体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 在宅医療の提供体制の現状を把握するに当たり、新たに追加された指標も参考として、記載を見直す。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 訪問口腔衛生指導を受けた患者数</li> <li>・ 小児の訪問診療を受けた患者数 等</li> </ul> </li> <li>○ 在宅医療の必要数の再推計</li> </ul>
<div style="background-color: #f0f0f0; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <b>第4章</b> 地域保健医療対策の推進 </div> <div style="padding-left: 20px;"> 第1節 感染症対策  第2節 臓器等移植対策  第3節 難病対策  第4節 アレルギー対策  第5節 歯科保健医療対策  第6節 今後高齢化に伴い増加する疾病等対策 </div> <div style="background-color: #f0f0f0; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <b>第5章</b> 医療の安全確保と医療サービスの向上 </div> <div style="padding-left: 20px;"> 第1節 医療安全対策  第2節 医療情報の提供  第3節 医療機関相互の役割分担と広域連携の推進  第4節 医療に関する情報化の推進  第5節 医薬品の適正使用の推進と供給体制の整備  第6節 血液確保対策 </div>	（中間見直しの対象外）

医療計画の構成	見直しのポイント（作成指針の主な変更箇所）
<b>第6章</b> 医師など医療従事者の確保 第1節 趣旨 第2節 医師 第3節 歯科医師及び歯科衛生士 第4節 薬剤師 第5節 看護職員 第6節 その他医療従事者 第7節 医療従事者の勤務環境改善	（中間見直しの対象外）
<b>第7章</b> 計画の推進と評価 第1節 計画の周知と医療機能情報の公表	（中間見直しの対象外）
第2節 計画を評価するための目標	○ H30年度以降の進捗状況や指標のデータ等を参考として、必要な見直し。
第3節 計画の推進方策	（中間見直しの対象外）
<b>第8章</b> 別 表  <b>第9章</b> 資料編	（中間見直しの対象外）